

1. 科目名 (単位数)	金融論 (2 単位)	3. 科目番号	SBMP2135						
2. 授業担当教員	城田 吉孝								
4. 授業形態	アクティブ・ラーニング (グループ・ディスカッションなどの双方向対話型授業)	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係	経済学の基本を理解していることが望ましい。								
7. 講義概要	現代社会においてほとんどの場合、カネを用いて商品取引を行っている。したがって、現代のわれわれの生活にカネは必要不可欠なものである。さらに金融の動向は、実体経済にさまざまな影響を及ぼす。これらのことから、個々の経済主体の意思決定、家計や企業等の金融行動に必要な基礎知識として、金融の役割、金融の方法、利子率、金融市場、金融機関、金融政策などを理解することは重要である。そこで、本講義では、金融論の基礎的な理論や現状について考察する。								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の金融経済の現状を把握し、説明できるようになる。 2. 金融の基礎理論を理解し、説明できるようになる。 3. 金融の問題を発見できるようになり、解決策を考えられるようになる。 								
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> ・5回目、10回目に講義内容をまとめてレポートを提出してもらう。 ・日本銀行は、金融政策決定会合開催後、直ちにその結果を公表しています。日本銀行のHPを見ると、最近の決定会合の結果がわかりますので、調べてみましょう ・あなたが預金口座を持っている銀行の自己資本比率の内容や経営状態について調べてみましょう 								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】</p> <p>晝間文彦『基礎コース金融論 第4版』 新世社、2021年。</p> <p>【参考書】</p> <p>家森信善『金融論』第3版中央経済社 2022年</p> <p>日本経済新聞社編『金融入門』日本経済新聞出版社、2020年。</p> <p>伊藤亮太『金融の仕組みがこれ1冊でしっかりわかる教科書』技術評論社 2022年</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 金融論の基礎知識が理解できているか。 2. (中間) レポート課題に対して的確に検討し、説明できるようになっているか。 3. 期末試験 (又はレポート) を通じて、専門用語等を理解し、説明できるようになっているか。 <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への積極的参加</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>2. (中間) レポート</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>3. 期末試験 (又はレポート)</td> <td>総合点の 40%</td> </tr> </table>			1. 授業への積極的参加	総合点の 30%	2. (中間) レポート	総合点の 30%	3. 期末試験 (又はレポート)	総合点の 40%
1. 授業への積極的参加	総合点の 30%								
2. (中間) レポート	総合点の 30%								
3. 期末試験 (又はレポート)	総合点の 40%								
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本学の基本方針として学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目的としている。受講生は、下記のことを守ること。 <ol style="list-style-type: none"> ①授業には欠席、遅刻、早退はしないこと (欠席、遅刻、早退の場合は、その理由を書面にて提出のこと)。 ②授業中理解できなかったことは、そのまま放っておかず質問すること。 ③授業中は私語、居眠りをしないこと。また、携帯電話のスイッチは切っておくこと。 ④授業中は緊張感と集中力を保ち、積極的な態度で授業に参加すること。 ⑤課題の提出期限を厳守すること。 ⑥授業に「参加すること」これは出席を指すのではなく、他人の意見に耳を傾け、間違えるのを恐れない自分の意見を持ち、積極的に参加することである。 2. 授業中にスマホ操作、居眠りの多い者は教壇最前列に座らせる等、担当教員の厳格な指導下におく 								
13. オフィスアワー	授業中に通知する。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	第1章 貨幣と金融 1	事前学習	pp. 2～9 貨幣と金融の主な内容をまとめる。						
		事後学習	金融の基本的機能について理解する。						
第2回	第1章 貨幣と金融 2	事前学習	p. 9 金融システムをまとめる。						
		事後学習	貨幣と決済機能の特徴を理解する。						
第3回	第2章 日本の金融システム	事前学習	p. 3 2 戦後の金融制度と金融構造についてまとめる。						
		事後学習	金融自由化以降の金融制度改革について理解する。						
第4回	第3章 金融機関の機能と証券化	事前学習	p. 5 8 金融仲介機関の基本的機能についてまとめる。						
		事後学習	銀行の機能について理解する。						
第5回	第4章 金融市場の分類	事前学習	p.88 金融市場の分類についてまとめる。						
		事後学習	短期・長期金融市場の重点をまとめる。						
第6回	第5章 利子率と資産価格	事前学習	p. 1 1 4 利子率とその決定要因についてまとめる。						
		事後学習	株価の決定理論について説明できる。						
第7回	第6章 金融派生商品	事前学習	p.140 金融派生商品の意義について理解する。						
		事後学習	先渡・先物取引についてまとめる。						
第8回	第7章 家計の金融行動 1	事前学習	p.166 家計の消費・貯蓄行動について調べる。						

		事後学習	家計の金融資産選択行動の特徴についてまとめる。
第 9 回	第 7 章 家計の金融行動 2	事前学習	p.187 家計の金融行動の推移について調べる。
		事後学習	家計の消費・貯蓄行動・金融資産選択行動について説明できる。
第 10 回	第 8 章 企業の金融行動 1	事前学習	p.194 企業の目的と金融行動・実物投資行動について調べる。
		事後学習	企業の目的と金融行動について説明できる。
第 11 回	第 8 章 企業の金融行動 2	事前学習	p.199 企業金融と MM 理論についてまとめる。
		事後学習	法人企業の資金運用と資金調達について説明できる。
第 12 回	第 9 章 金融政策 1	事前学習	p.218 金融政策と中央銀行の役割についてまとめる。
		事後学習	銀行の信用創造について説明できる。
第 13 回	第 9 章 金融政策 2	事前学習	p.227 金融政策の運営方法と政策手についてまとめる。
		事後学習	日本銀行の金融調節を説明できる。
第 14 回	第 10 章 決済システムと信用秩序の維持	事前学習	p.248 日本の決済システムと変革についてまとめる。
		事後学習	日本のブルーデンス政策と金融行政について説明できる。
第 15 回	経済の調整手段としての金融政策・金融システムを復習し金融論の内容を総括する。	事前学習	金融の基本的機能、金融システム、金融機関の機能、金融市場、金融政策、家計の金融行動、企業の金融行動の課題についてまとめる。
		事後学習	講義の復習：金融政策の課題・金融システム政策について説明できる。
期末試験			